



# 創造と連帯の輪を広げて、心豊かな21世紀を 本県で「全国老人クラブ大会」開催

本県開催は30年振り

被災県から連帯の輪を広げたい

7月に新会長に就任後は、「第42回全国老人クラブ大会」(10月1日～2日)の準備に追われています。開催地・岩手県は東日本大震災で大きな被害をこうむりましたが、本県開催は第12回大会以来、実に30年振り。被災県から全国に連帯の輪を広げたいと考えています。本年は老人福祉法制定50周年、老人保健法30周年の節目の年にあたり、高齢者の尊厳が守られる保健福祉の一層の推進を期す大会となります。

大会は「創造と連帯の輪を広げて、心豊かな21世紀を」をメインテーマに、式典及び5部会に分かれて活動交流が行われます。うち



岩手県老人クラブ連合会  
新会長に就任  
齋藤 文三 会長

「東日本大震災と老人クラブ」全

国からの支援に感謝します」は、県老連企画部会によるものです。

震災を語り継ぐ「語り部」活動を紹介しながら、被災地老連(福島県・宮城県・仙台市・岩手県)によるパネルディスカッション「クラブ再生、地域の復興のあり方」で、被災地や老人クラブの現状について話し合います。参加者は前大会を上回る1,750人を見込んでいます。

## 困難を乗り越えて再生する 老人クラブをめざして

県老連(市町村老人クラブ連合会33か所、単位老人クラブ1,966か所、会員は86,804人)の本年度のメインテーマは「困難を乗り越えて再生へ」共に歩む復興への道程」です。事業計画には「東日本大震災からの復旧・復興」「全国3大運動(健康・友愛・奉仕)の推進といわて銀河プランの推進」など6項目を掲げ、活動の充実に努めています。

しかし平成15年以降、会員数の減少が続いており、新公益法人制度への移行をきっかけに、一層の会員増強と老連組織体制の強化を

進めています。

東日本大震災から2年。震災後は全国の老人クラブ関係者から多くの支援をいただき、復興の支えになりました。また、難局の克服に向けて沿岸・内陸の会員が一体となって救済活動に取り組み、被災クラブの再生と活動を支援しながら、仲間を支援する活動を進めてきました。

県老連では今後とも被災地市町村老連サポート班による支援活動や県受託の「高齢者友愛支え合い事業」を通して、なお一層、高齢者の孤立化と閉じこもり防止、新たなコミュニケーションによる生きがいづくりを進めたいと考えています。

## 全国老人クラブ大会 活動交流部会テーマ

- 1部会/健康づくり・介護予防活動の推進
  - 2部会/わがクラブの活性化、加入促進プラン
  - 3部会/女性会員による元気なクラブづくり(全老連女性委員会20周年記念)
  - 4部会/住みよいまちづくりへの取り組み
  - 5部会/東日本大震災と老人クラブ(全国からの支援に感謝します)
- 式典(10月2日)岩手県民会館大ホール

## ありがとうございます

### ●明治安田生命保険相互会社

8月27日に明治安田生命保険相互会社盛岡支社の宮部健二支社長と浦元博総務・内部管理推進部長が岩手県共同募金会を訪れ、岩手県平成25年豪雨・大雨災害義援金として30万円を同会の古内保之専務理事に手渡しました。

義援金については、被災者支援のため、被災者本人にお渡します。



### ●株式会社モリレイ

8月27日に株式会社モリレイの岡村弥代表取締役社長と田山啓三常務取締役第一営業本部長が当会を訪れ、地域福祉推進活動の資金として100万円の寄付金を桑島博会長に手渡しました。

寄付金については、震災復興のために活用する予定です。



## お知らせ

### 第66回 岩手県社会福祉大会

テーマ

「共に生き、共に支え合う福祉社会の実現を目指して」

【期日】平成25年11月6日(水)

【会場】岩手県民会館大ホール

【プログラム】式典 13:00～

記念講演 14:05～15:15

演題 「“命の時代”の主役」

講師 上甲 晃 さん

(志ネットワーク代表)

講師の上甲氏は、松下電器産業株式会社退職後、有限会社志ネットワーク社を設立。21世紀、「志の高い日本」は「志高い日本人」によってこそ実現するとの思いに立ち、志ネットワーク活動を展開している。

なお、記念講演については、どなたでも聴講いただけますので、当日直接会場にお越しください。